

横断型基幹科学技術研究団体連合  
第2回理事会 議事録(抄録)

日時：2004年7月8日(木) 15:00～17:00

場所：機械振興会館

出席者：(敬称略、各50音順)

会長：吉川弘之 副会長：木村英紀

理事：木下源一郎、鈴木久敏、館 暲、谷江和雄、千原國宏、出口光一郎、土井美和子、原田 昭、藤井真理子

監事：河野宏和

事務局：井上雄一郎、清水祐美

議事：

1. 各委員会の活動報告

(1) 企画委員会(木村副会長)

- ・地域防災関係の調査研究委員会を今秋目標で理事会に提案するよう準備を進めている。
- ・研究開発予算について、量は拡大しているが著しく質が劣化してきており量に見合う成果に結びついていないとの諏訪氏(国立身体障害者リハビリテーションセンター)からの問題提起が紹介された。
- ・今後の公的研究資金の受け皿になる可能性も考えて、NPO法人化の調査を行っている。
- ・活動活性化・会員学会の参加意識向上のため、会長懇談会開催の提案が行われた。

(2) 事業・広報委員会(谷江理事)

- ・配布資料に基づきミッション・活動方針等が説明された。
- ・活動活性化を進めるため、会員学会のジャンル分けも検討する。  
横幹の特質を失わないよう、目的に応じた分類・組み合わせが必要。

(3) 学術委員会(鈴木理事)

- ・具体的な活動はこれからであるが、事業・広報委員会との連合委員会等も検討する。
- ・調査研究委員会は、企画委員会で提案することはあるが運営の統括は学術委員会

(4) 出版委員会(木下理事)

- ・第3号の企画が報告された。トップ記事の執筆は出口理事に依頼する。

(5) 産業連携委員会(館理事)

- ・第1回横幹技術フォーラム(7月14日開催予定)について報告があった。
- ・第2回横幹技術フォーラム(9月開催予定)で知財問題を取り上げることが提案された。

(6) 知財・教育委員会(木村副会長が代行)

- ・まもなく中間報告が完成

2. 活動活性化策について

(1) 研究開発予算の質の劣化問題

企画委員会から報告された諏訪和基氏の問題提起に対して活発な討議が行われた。

- ・各学会共通の問題と言う点では横幹的問題
- ・総合科学技術会議でも論議されている。現場の声、実態を出してサポートできないか。
- ・今後の取り扱いについてはさらに検討する。

(2) 知財問題

知財問題委員会の中間報告がまもなく纏まることを受けて、これらへの対応が論議された。

結論：\*第2回横幹技術フォーラムで中間報告を会員学会、産業界に諮るという位置付けとする。

\*フォーラムでの意見・論議も取り入れて最終報告を作成する。

\*最終報告完成後、シンポジウム等を企画する。

(3) 会長懇談会

会員学会が横幹連合への帰属意識を持てるような企画を考える。分科会形式での課題討論 - 全体討議なども検討する。

3. その他

- ・予算案について、一部会員学会の会員数ランクの変更、経費の見込変更などに伴う実行予算案への変更が承認された。

以上